【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2005-5253(P2005-5253A)
【公開日】平成17年1月6日(2005.1.6)
【年通号数】公開・登録公報2005-001
【出願番号】特願2004-106123(P2004-106123)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　41/24　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　2/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ　103/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　41/24　Ｂ
Ｈ０５Ｂ　41/24　Ｄ
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｆ２１Ｓ　1/00　Ｅ
Ｆ２１Ｙ　103:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月20日(2007.3.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各々複数のランプからなる第１及び第２のランプ群と、
前記第１のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、一側に電気的に接続される第１の電極接続手段と、
前記第１のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、他側に電気的に接続される第３の電極接続手段と、
前記第２のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、一側に電気的に接続される第２の電極接続手段と、
前記第２のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、他側に電気的に接続される第４の電極接続手段とを備え、
前記第１のランプ群および前記第２のランプ群をなす各々のランプが交互に平行に配列され、
前記第１乃至第４の電極接続手段は棒形状で形成されることを特徴とするバックライト。
【請求項２】
前記第１のランプ群を駆動する第１のインバータと前記第２のランプ群を駆動する第２のインバータとをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載のバックライト。
【請求項３】
前記第１及び第２のインバータから出力される電圧の位相差が９０°未満であることを特徴とする請求項２に記載のバックライト。
【請求項４】
複数のランプが２つ以上のグループに分離されてなる２つ以上のランプ群と、
前記２つ以上のランプ群をなす各々のランプの両端電極に電気的に接続され、棒形状で形

成される複数の電極接続手段とを備え、
前記２つ以上のランプ群をなす各々のランプが交互に平行に配列されることを特徴とするバックライト。
【請求項５】
前記２つ以上のランプ群を駆動する２つ以上のインバータをさらに備えることを特徴とする請求項４に記載のバックライト。
【請求項６】
前記２つ以上のインバータから出力される電圧の位相差が９０°未満であることを特徴とする請求項５に記載のバックライト。
【請求項７】
前記ランプは、外部電極を有することを特徴とする請求項１または４に記載のバックライト。
【請求項８】
液晶パネル、前記液晶パネルのゲートラインにゲートオン信号を順次印加するゲート駆動部、データ信号を前記液晶パネルの全てのデータラインに印加するデータ駆動部を有する液晶モジュールと、
前記液晶パネルに所定の光を印加するバックライトとを備え、
前記バックライトは、各々多数のランプで構成される第１及び第２のランプ群と、
前記第１のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、一側に電気的に接続される第１の電極接続手段と、
前記第１のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、他側に電気的に接続される第３の電極接続手段と、
前記第２のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、一側に電気的に接続される第２電の極接続手段と、
前記第２のランプ群をなす前記ランプの両端電極の中、他側に電気的に接続される第４の電極接続手段とを備え、
前記第１のランプ群および前記第２のランプ群をなす各々のランプが交互に平行に配列され、
前記第１乃至第４の電極接続手段は棒形状で形成されることを特徴とする液晶表示装置。
【請求項９】
前記２つ以上のランプ群を駆動する２つ以上のインバータをさらに備えることを特徴とする請求項８に記載の液晶表示装置。
【請求項１０】
前記２つ以上のインバータから出力される電圧の位相差が９０°未満であることを特徴とする請求項９に記載の液晶表示装置。